

生涯自分の歯でしっかりかんで食べられるように

●問い合わせ 保健医療課健康支援室
☎53-2111 (内線2440 ~ 2443)

市の歯科保健計画では、胎生期から老年期、介護・障がいまで6つのライフステージに分け、スローガンや個人・関係機関・行政の取り組みなどを設定しています。

介護・障がい者においては「お口の健康に関心を持つ」というスローガンに在宅歯科医療連携室などと連携し、口腔保健の向上を目指しています。

歯・口腔の健康は、介護予防につながり、生活の質（QOL）を向上させます。要介護者などは、自分の口の異常に気づきにくいいため、周囲の人が早め気づき、正しい口腔ケア（※）を行うことが大切です。

そのためにも、在宅歯科医療連携室に相談してみてください。

※口腔ケアとは

お口の中を清掃し、清潔に保つだけでなく、食べる・話す・豊かな表情などの口の機能を維持・向上するための予防や治療のことをいいます



こんにちは 在宅歯科医療連携室です

介護が必要で歯科医院への通院が困難な高齢者などを対象に、在宅歯科医療の申し込みや、歯や歯ぐきの痛み、入れ歯などの相談に応じます。



- 内容
 - ・訪問口腔ケア
 - ・歯科無料相談
 - ・口腔ケアに関する研修会
 - ・訪問歯科医療のご案内など

○受付・相談
月・火・水・金曜日 ※祝日は除く
午前9時～正午、午後3時～5時

●問い合わせ
村上市岩船郡在宅歯科医療連携室
(飯野3丁目10番11号)
(☎・FAX)62-7747)

歯科健診で早期発見を

村上市岩船郡歯科医師会

会長 中野 久士

世界で最も患者が多いのは歯周病、むし歯といった歯科疾患です。

歯周病は自覚症状が少なく、「沈黙の病気」と表現される通り気づいた時には、かなり進行していることが多く早期発見が難しい病気です。最近メデアなどで、歯周病と全身の病気（糖尿病、心疾患、誤嚥性肺炎、リュウマチ、認知症、早産・低体重児出産など）の関係が周知されています。

また、むし歯に関しては、幼少期、青少年期において新潟県は有病率が低く全国一優れています。が、食生活の変化などでよくかむという行為が減り、口の中の筋肉の低下と顎の発育障害により不正なかみ合わせが多く診られます。不正なかみ合わせは体や脳の発育

に影響を及ぼすことがあります。これらの予防と治療のためにも、種々の歯科健診を積極的に活用することによって、早期発見・早期治療がとても重要です。

また訪問口腔ケア・訪問歯科診療の依頼・お口の悩み事などがありましたら当地区の歯科医療連携室に相談してみてください。女性スタッフが電話での相談のほか、訪問相談にも応じます。普段何気なく使っている口ですが、よくかめない、歯がしみる、歯ぐきから血や膿が出る、口臭がある、口が乾く、顎が痛いなどの症状はありませんか。

当歯科医師会は、住民の皆様の頼れる歯科医でありたいと願っております。